

令和4年度 山梨労働局 年末年始無災害運動

実施期間 令和4年 12/1 → 令和5年 1/31

標語 『待ってます 元気なあなた 明るく迎える年末年始』

趣旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取組促進を図る目的で、山梨労働局・各労働基準監督署が主唱する運動です。

山梨県内における令和4年の死亡者数は、10月末日現在で3人となっており、令和3年の5人に迫る人数となっています。また、令和4年の休業4日以上死傷者数は、10月末日現在で843人であり、令和3年の同時期と比較して41.2%の増加となっています。このままの傾向で推移すると、直近10年間で最多の死傷者数となるおそれがあります。

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進し、災害のない職場環境を整えるためにも、一つひとつの作業を丁寧に確認し、次の作業に備えること、そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切です。

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立が求められる中で迎える年末年始は、慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、積雪や凍結による転倒等の危険が増します。各事業場においては、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となります。

このような状況を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

『待ってます 元気なあなた 明るく迎える年末年始』を標語として展開することとします。

事業場の主な実施事項

- (1) 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- (2) KY（危険予知）活動を活用した、非定常作業における労働災害防止対策の徹底
- (3) 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
- (4) 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- (5) 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- (6) 交通労働災害防止対策の推進
- (7) 安全衛生パトロールの実施
- (8) 機械設備に係る一斉検査及び作業前点検の実施
- (9) 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底
- (10) 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- (11) 高齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食事、運動等）に関する健康指導などの実施
- (12) 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症拡大防止対策の徹底
- (13) 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
- (14) 安全衛生旗の掲揚及び年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
- (15) その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



【主唱者】 山梨労働局、甲府・都留・諏訪労働基準監督署

【推進団体】 (一社)山梨県労働基準協会連合会、甲府・都留・峡南・山梨労働基準協会
建設業労働災害防止協会山梨県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会山梨県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部、(公社)ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所
(一社)山梨県鉄構溶接協会、(公社)建設荷役車両安全技術協会山梨県支部
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 山梨支部、(独)労働者健康安全機構 山梨産業保健総合支援センター

【協力機関】 国土交通省甲府河川国道事務所、国土交通省富士川砂防事務所、国土交通省関東運輸局山梨運輸支局
林野庁関東森林管理局山梨森林管理事務所、山梨県

【後援団体】 連合山梨、山梨県経営者協会

詳しい実施要領については、山梨労働局ホームページ「年末年始無災害運動」を検索してご覧ください。



年末年始こそ安全衛生活動を強化しましょう



トップ自ら安全衛生パトロール

経営トップ自らが、安全衛生パトロールを行い、職場状況を直接点検するとともに、従業員との対話の中から、多くの体験や情報を得て、職場内の安全衛生上の問題点を把握して改善し、安全・快適職場につなげましょう。



組織的な安全衛生活動への取組

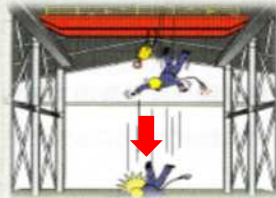
年末年始に行う設備の点検等の作業は、事前に計画できるものが多く、各部門担当者や協力会社等の関係者による作業計画を作成し、その作業方法に基づき、リスクアセスメントを実施して、リスク低減措置、残留リスク対応の情報共有、周知徹底を組織的・効率的に展開させましょう。



非定常作業で発生しやすい災害



転倒災害



墜落災害



はさまれ
巻き込まれ災害



腰痛
(無理な姿勢)

年末年始には、設備の点検整備、清掃等のメンテナンスや設備の停止・立ち上げ等の非定常作業が多くなり、反復・継続して行われることが少ないことから、少しの気の緩みが災害発生につながります。各作業に応じたリスクアセスメント、KY活動等により労働災害の防止に努めましょう。

「職場」でのコロナ感染拡大防止のポイント



マスク

会話をするときは
マスクをつけましょう



換気

室内ではこまめに空気
を入れ換えましょう



密

席や更衣室では、人と適切
な距離をとりましょう



共用

備品の共用は避けましょう

コロナ感染リスクが高まる「5つの場面」



飲食を伴う懇親会等



大人数や長時間の飲食



マスクなしでの会話



狭い空間での共同生活



居場所の切り替わり

年末年始の交通事故対策の徹底

年末年始は何かと慌ただしく、疲労の蓄積や集中力の欠如から、不安全な運転となりがちです。また、積雪や凍結等により交通事故が多発します。社内ミーティング等で安全運転について話し合い、交通労働災害防止に努めましょう。

